

管理医療機器・認証番号 229AGBZX00093000

機械器具78 家庭用電気治療器

電位・温熱組合せ家庭用医療機器

コード 71001000

# 取扱説明書

添付文書

電位・温熱治療マット602

本製品は家庭用医療機器です。一般家庭でご使用してください。

ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、注意事項を必ず守って正しくご使用ください。

いつでも使用できるように取扱説明書は大切に保管してください。

# 目次

目次	．．．	1
添付文書	．．．	2・3
ご使用上のご注意	．．．	4
各部のなまえとはたらき	．．．	5
製品仕様	．．．	6
使用目的又は効果	．．．	7
運転前の準備と機能説明	．．．	8
正しいご使用方法		
・ 温熱治療	．．．	9・10
・ 電位治療	．．．	11
・ 交互運転	．．．	12
お手入れ	．．．	13
故障かな？と思ったら	．．．	14
アフターサービスと保証		
かんたん 操作	．．．	15

下記の表示がついている文章は必ずお読みください。

表示	表示の意味
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性及び物理的損害のみの発生が想定されます。

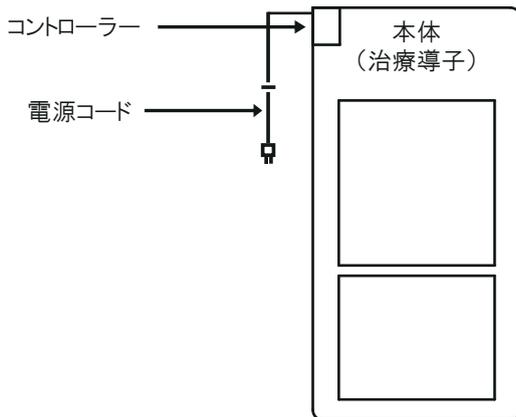
機械器具78 家庭用電気治療器  
管理医療機器 電位・温熱組合せ家庭用医療機器(JMDNコード71001000)  
電位・温熱治療マット602

**【禁忌・禁止】  
併用医療機器**

- 次のような医用電気機器との併用は、誤作動を招く恐れがありますので電位治療および交互治療は使用しないでください。
  - ペースメーカ、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
  - 心電計等の装着型医用電気機器
- 適用対象（患者）**
- 電位治療および交互治療は、心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人は使用しないでください。

**【形状・構造及び原理等】**

外観図



(1) 機器構成

① 本体（治療導子）

タイプ	標準寸法 (mm)	重量 (kg)	治療部位
S	W1000×L 2000×t 71	約 6.9	腰・足
SW	W1400×L 2000×t 71	約 9.70	腰・足
D	W1400×L 2000×t 71	約 9.70	左・右

② 電源コード

有効長 約 2500 (mm) 重量 約 0.20 (kg)

(2) 電氣的定格

定格電源電圧 AC100V  
 定格周波数 50/60Hz  
 定格消費電力 電位治療時 2W  
 温熱治療時 181W: S  
 232W: SW  
 240W: D

IPナンバー 療導子 IPX1

電撃クラス クラス0機器

(3) 付帯機能

① プログラム機能

出力電圧、出力間隔等の出力パターンを自動的に変化させる機能

② 電位・温熱切換機能

あらかじめ決められたプログラムにより、電位治療と温熱治療が切り替わる機能

③ 自動プログラム（温熱）

あらかじめ決められたプログラムにより、温熱出力が自動的に化する機能

(4) 安全装置

① 電位治療

出力回路が短絡した場合、出力側に高抵抗を直列に接続してあることにより人体への電気ショックを防止している。また、タイマーにて治療時間を4時間から8時間の間で選択して治療を終了させることで、治療者の過治療を防止している。

② 温熱治療

故障及び誤使用により温度制御のできない場合は、発熱体に直列に接続した温度ヒューズにて通電を止める。

また、タイマーにて治療時間を1時間若しくは4時間から8時間の間で選択して治療を終了させることで、治療者の過治療を防止している。

(5) 動作原理

電位治療部ならびに温熱治療部を組み込んだ商用電源 AC100Vの家庭用電気治療器で、スイッチの切換により、電位治療又は温熱治療及び交互治療に使用する。

- \* ① 電位治療：人体に静電位を与えて治療する。
- \* ② 温熱治療：面発熱体の電熱を利用し患部に熱刺激を与え治療する。
- \* ③ 交互治療：電位と温熱を1分：3分の割合で出力する。

(6) 性能及び安全性に関する規格

- ① 電位治療：出力電圧（波高値）-300：-300V  
-800：-800V  
ゆらぎ：-300V⇔-800V
- ② 温熱治療：治療導子表面温度「強」約 47℃±7℃  
「中」約 37℃  
「弱」約 27℃  
熱ほぐし：約 50℃⇔45℃
- ③ 交互治療：治療割合 電位：温熱 = 1分：3分
- ④ タイマー：治療時間「8～4時間」または「1時間」

**【使用目的又は効果】**

電位療法又は温熱療法の効能又は効果を得る目的で使用する。

- ① 電位療法：肩こり、頭痛、不眠症及び慢性便秘の緩解
  - ② 温熱療法：温熱効果
    - ・ 疲労回復
    - ・ 血行をよくする
    - ・ 筋肉のコリをほぐす
    - ・ 筋肉のつかれをとる
    - ・ 神経痛、筋肉痛の痛みの緩解
    - ・ 胃腸の働きを活発にする
- 一般家庭で使用する

**【使用方法等】**

ご使用に当たっては、取扱説明書をよくお読みになってから、ご使用ください。  
また、機器に異常がないか確認してからご使用ください。

1. 使用前準備

- ① 治療器本体及び電源コードに異常がないことを確認します。
- ② 電源コードの器具用差込みプラグをコントローラーの差込口に確実に差込んだ後、電源プラグをAC100Vコンセントに確実に差込みます。

2. 使用中

- ① 電源切換スイッチを「治療」に入れてください。  
（電源切換スイッチを「治療」に入れたと同時に受付音“ピー”がなります）
- ② 治療切換スイッチで（電位・交互・温熱）を選択してください。  
（設定した治療に伴い表示ランプが点灯し、残り時間が点滅表示します）
- ③ 設定スイッチ「電位」・「温熱」を押してモードを選択します。  
（選択したモードの表示ランプが点灯します）
- ④ 温度調節ツマミでお好みの温度に設定します。  
（設定した治療が「交互」・「温熱」の時に限ります）  
（「熱ほぐし」の場合は固定の温度になります）
- ⑤ 設定スイッチ「時間」で治療時間（8～4時間）を設定します。  
（「熱ほぐし」を設定している場合は1時間固定になります）
- ⑥ 設定スイッチ「開始/停止」を押してください。  
（受付音“ピー”がするのと同時に治療が開始されます）

3. 使用後

- ① 治療時間が終了するとタイマー表示が「0」になり、運転を終了します。
- ② 途中で治療を止める場合は、設定スイッチ「開始/停止」をしっかりと（約1秒以上）押すと受付音“ピー”がなり、残り時間が点滅します。
- ③ 続けて治療を行う場合は、2. ③から手順どおり操作を行ってください。

#### 4. その他

- ① 電位治療を初めてご使用になる方は、電位出力を「-300」でご使用ください。
- ② 温熱治療を初めてご使用になる方は、温度調節ツマミを「中」の位置でご使用ください。
- ③ 交互治療を初めてご使用になる方は、温度調節ツマミを「中」の位置で電位出力を「-300」でご使用ください。

#### [使用上の注意]

- (1) 次のような使いかたは、絶対におやめください。

本添付文書 1 頁の赤枠内【禁忌・禁止】の項を参照

- (2) 次のように医師から診断を受けている方は、医師と相談された上でご使用ください。

- 電位治療・温熱治療
  - ・ 悪性腫瘍のある人
  - ・ 心臓に障害のある人
  - ・ 妊娠初期の不安定期又は出産直後の人
  - ・ 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
  - ・ 体温 38℃以上（有熱期）の人

例1 急性炎症症状 [倦怠感、悪寒、血圧変動など] の強い時期にある人

例2 衰弱している人

- ・ 安静を必要とする人
- \* 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性 [疼痛性] 疾患の人

- 次の人で、1 時間を超えて使用する場合は

- ・ 高血圧の人
- ・ 不整脈のある人
- ・ 睡眠時無呼吸症の人
- ・ 喘息の人

- 温熱治療

- ・ 温度感覚喪失が認められる人
- ・ 低温やけどをしたことのある人

- 交互治療の場合も上記の症状のある方は、医師と相談された上でご使用ください。

- (3) 使用環境および使用条件

- a. 浴室などの湿度の高い所では使用しないでください。
- b. 一般家庭 (AC100V 50/60Hz) 以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- c. 機器が濡れている場合には使用しないでください。
- d. 治療は、1 日 8 時間を目安にご使用ください。
- e. 高温設定で長時間使用されますと、低温やけどのおそれがありますのでご注意ください。
- f. 身体の自由が利かない人及び幼児には使用させないでください。
- g. 睡眠薬等を服用した人及び酩酊状態の人は使用しないでください。

- \* h. 補助を必要とする人（子供を含む）にこの機器を単独で使用させないでください。（保護者、医師又は専門家の監視下で使用する場合を除く。）また、子供には本体の上で遊ばせたり、上に乗らせないでください。

- \* i. 治療導子（ヒーター）は、過度な加重や強い折り曲げなどで発熱体がシワ（乙状や十字、鋭角な折り、重なり）にならないよう、十分ご注意ください。

- (4) 使用前

- a. 電源コードは容易に着脱しないよう、正しく確実に接続してください。
- b. スイッチ・ツマミ・タイマーなどが正常に動作することを確認してください。
- c. しばらく使用しなかった場合は、前記に準ずるほか、機器が正常かつ安全に動作することを確認してください。
- \* d. 他の治療器又は採暖器具（あんか・電気毛布等）と同時に使用しないでください。
- e. 本体に損傷、断線などがあるときは使用をやめ、販売店又は製造販売元に連絡してください。
- f. 機器の絶縁に注意を要する場合があるため、取扱説明書の内容を守って使用してください。

- (5) 使用中

- a. 治療に必要な時間、量をこえないよう注意してください。
- b. 治療中は、周囲の人や周囲の物に触れないでください。
- \* c. 本器に故障が発見された場合は、直ちに電源切換ツマミを『切』にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- \* d. 身体及び機器に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、販売店又は発売元・製造販売元に連絡してください。
- e. 停電のときは直ちに電源切換ツマミを『切』にし、スイッチ・ツマミ等を使用前の状態に戻したのち、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- f. 治療導子に金属を接触させないでください。
- g. 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。

- \* h. 断熱効果の高い布団・マットレスを本品の上のせて使用しないでください。

- \* i. 機器は一人用です。複数の人が同時に使用しないでください。

- (6) 使用後

- a. しばらく使用しても効果が現れない場合は、医師又は専門家に相談してください。
- b. 治療後は電源切換ツマミを『切』にし、スイッチ・ツマミ等を使用前の状態に戻したのち、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- c. 電源コードを取り外す際は、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないでください。また、ぬれた手で差し込みプラグに触れないでください。
- \* d. 本体及び電源コードは次回の使用に支障がないよう必ず清浄にし、湿気の少ない所に整理・保管してください。

#### [保管方法及び有効期間等]

- \* a. 本品（コントローラー等）の使用後は清浄にし、保管してください。

- \* [保守・点検に係る事項] (4) お手入れのしかた 参照

- b. 補修用部品（商品機能を維持するために必要な部品）は製造打切り後、最低6年間保有しています。
- c. 本品は、3年以上の使用を意図している。

#### [取扱上の注意]

取扱を間違えると不具合が生じることがあるので、取扱説明書及び本書（医療機器添付文書）をよく読んで、使用方法、使用上の注意を必ずお守りください。

#### [保守・点検に係る事項]

- (1) 保守点検等

- a. 本品はピン・針などを突き刺したり、刃物で傷をつけないように注意してください。
- b. 万一故障等が発生した場合は勝手に修理せず、お買い求めの販売店又は製造販売元に依頼してください。
- c. 本品は、絶対に改造しないでください。
- d. 故障等により本品を処分される場合は、地域で定める条例に従って廃棄してください。
- e. 長期間使用しなかった本品を再使用する場合は、必ず正常かつ安全に動作することを確認のうえ、使用してください。
- \* f. 本体の汚れや傷みを軽減させる為に、専用シートのご使用をおすすめします。
- \* g. 長年使用した場合、しばらく使用しなかった場合は、販売店又は発売元・製造販売元へ点検を依頼してください。

- (2) 常に使用前の点検を励行し、異常が認められたときには、製造販売元に点検を依頼してください。
- (3) 本体の破損・断線、汚れ・傷み具合を点検し、次回の使用に支障のないよう清潔に保管してください。

- \* (4) お手入れのしかた

- \* ① マットの汚れがひどい場合は、中性洗剤を浸した布でふきとり、真水を浸した布で洗剤分を取り除いてください。その後、風通しの良い所で陰干しをしてください。
- \* ※ シンナー、ベンジンなどの溶剤を使用しますと、マットやコントローラーをいためますので、絶対使用しないでください。
- \* ② 電源コードをコントローラーから抜き取り、本体を畳む際は必ず三つ折りしてください。
- \* ※ 治療導子（ヒーター）を強く折り曲げたり、上に重いものをのせないでください。（故障の原因になります）
- \* ③ 押し入れ等に収納するときは布団などの最上位のせて、タテ方向に折り曲げないようにしてください。
- \* ④ 本体の湿気が気になるときは、電源切換ツマミを「乾燥」にしてください。
- \* ・ 湿気が取れない場合は、風通しの良い所で陰干しをしてください。
- \* ・ 屋外で日干しをしないでください。
- \* コントローラーが雨に濡れると故障する恐れがあります。
- \* ※ 折り曲げた状態で乾燥運転はしないでください。
- \* ※ 乾燥運転は表面温度が高くなりますので、マットの上に物（掛け布団類）を置かないでください。
- \* ※ 布団乾燥機との併用はしないでください。

#### [製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等]

- 製造販売業者：テクノエレメント株式会社
- \* 住 所：〒435-0056 静岡県浜松市中央区小池町1532番地
- 電 話：053-435-1161

製造業者：テクノエレメント株式会社

# ご使用上の注意



## 注意

低温やけどや焼損などの事故、さらに故障の原因にもなりますので必ずお守りください。

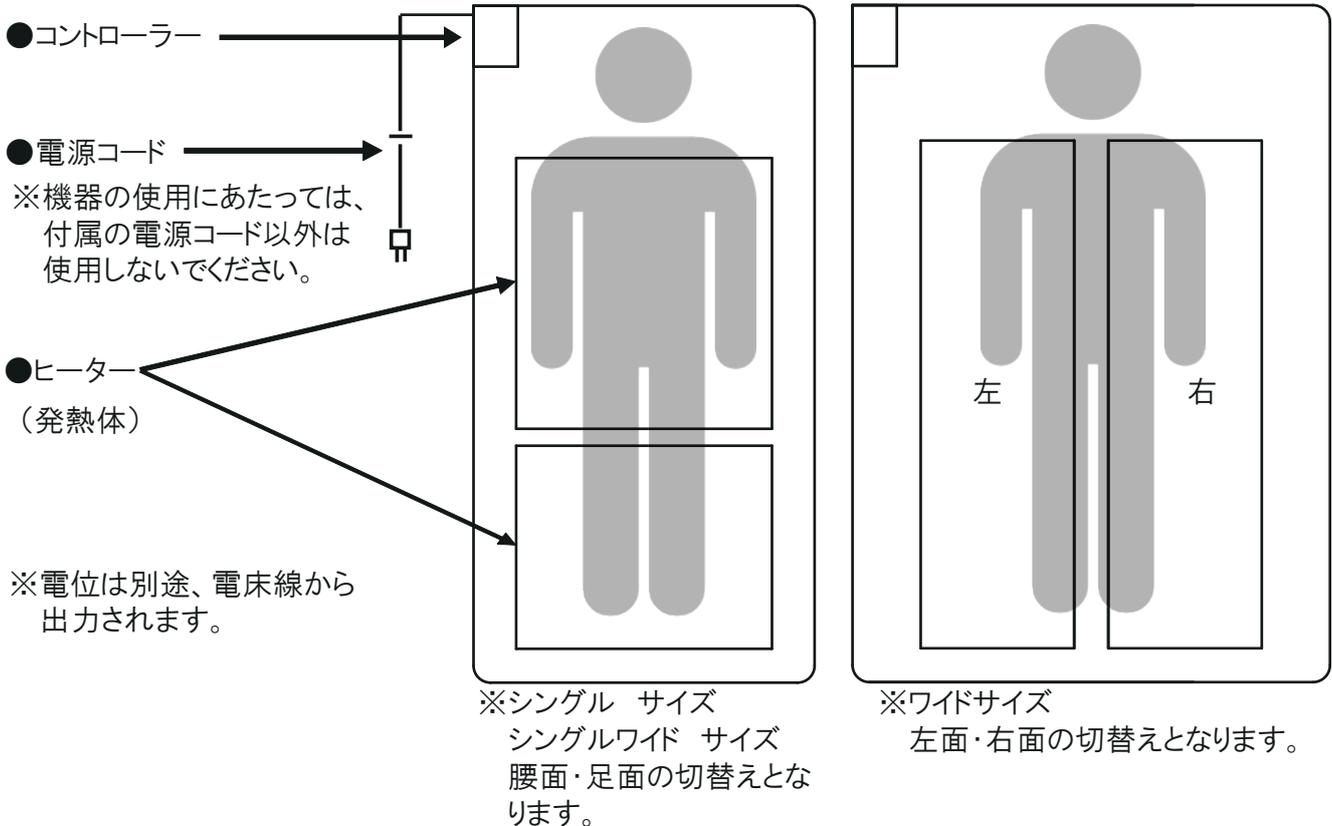
- 折りたたんだり、身体に巻きつけて使わないでください。
- 丸めて座ぶとんに使用したり、ひざかけ、カーペットなど、他の用途に使わないでください。
- 冷え込みが厳しいときに他の暖房器具と併用される場合には、併用される暖房器具を治療導子（本体）の上に置いたり、接近して使用しないでください。  
また、コントローラーの上に物（掛けふとん類）を置かないでください。
- 他の暖房器具（湯たんぽ、あんか、こたつ、電気毛布など）と同時に使用しないでください。
- 熱いやかん、アイロンなどの熱器具を本体の上に置かないでください。
- 地域によってはラジオに雑音が入る場合があります。ラジオからコントローラーや本体を1m以上離してください。
- 電子腕時計をしたままおやすみになりますと、時計が狂うことがありますのでおやめください。
- 寝たばこは火災の原因となりますのでおやめください。
- コントローラーをぬらしたり、高い所から落としたり、強い衝撃を加えたときには使用を中止し点検をお受けください。

●低温やけどにご注意ください。

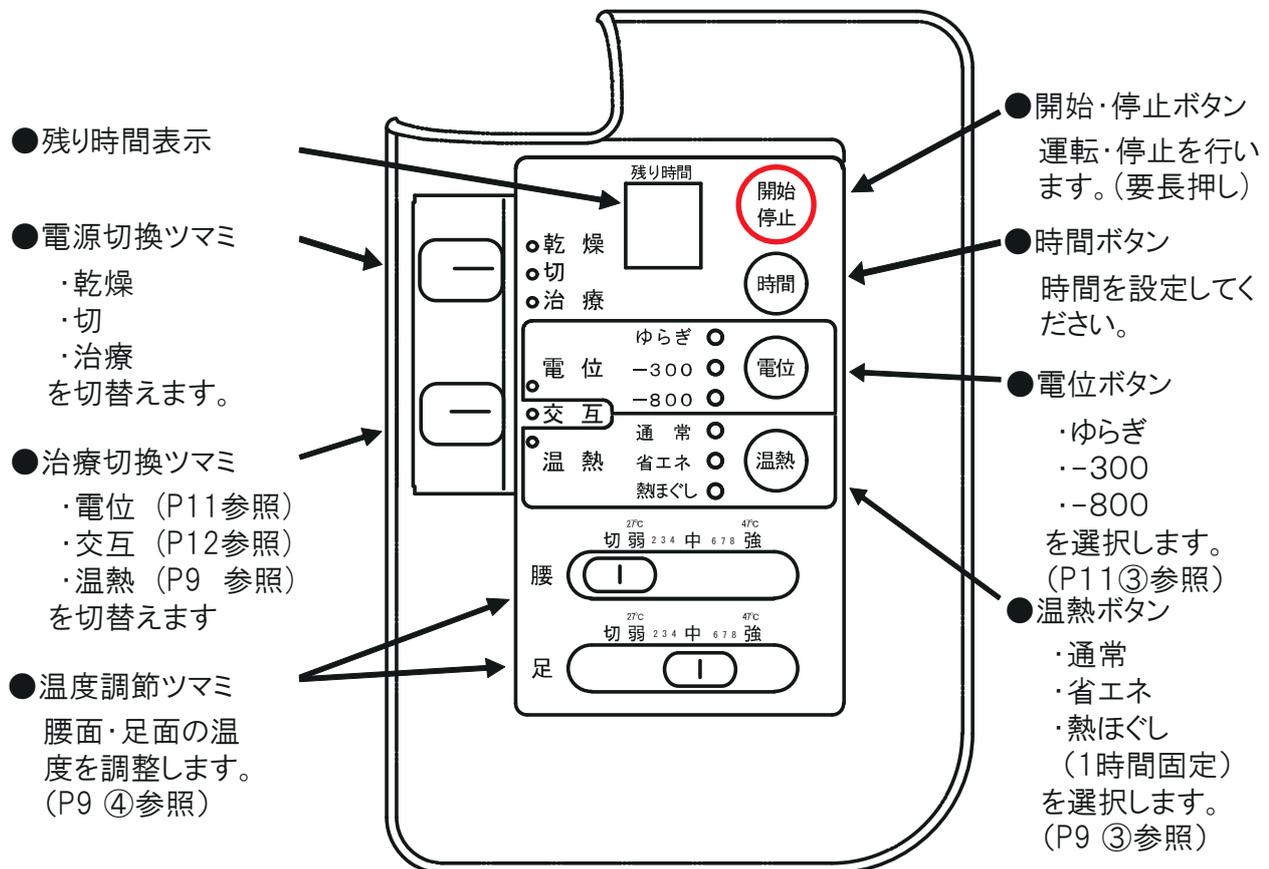
意志表示のできない方や身体の不自由な方に使用されるときは、周囲の方（保護者）が温度を低めに調節したりして、充分注意してご使用ください。

# 各部のなまえとはたらき

## ■本体



## ■コントローラー(操作部)



# 製品仕様

販売名	電位・温熱治療マット602		
認証番号	229AGBZX00093000		
呼称	シングルサイズ	シングルワイドサイズ	ワイドサイズ
寸法(mm)	1000×2000×71	1200×2000×71	1400×2000×71
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力 温熱	181W	181W	240W
消費電力 電位	2W		
発熱部の形態	特殊カーボン面発熱体		
温度調整機構	感熱線によるトライアック制御		
安全装置	自動温度調節機能 感熱線断線検知回路 感熱線短絡検知回路		
	温度過昇防止回路 電流検知回路		
温熱(表面温度)	「熱ほぐし」約50⇔45℃ / 「強」約47℃ 「中」約37℃ 「弱」約27℃		
電位(ピーク値)	-300V / -800V / ゆらぎ(-300V⇔-800V)		
付帯機能	電位・温熱切換機能 / 自動プログラム(温熱・電位)		
その他運転	乾燥運転		
ヒーター	寸法(mm)	850×850・850×600	850×850・850×600 550×1500・550×1500
タイマー	乾燥時間	1時間	
	治療時間	温熱(通常・省エネ)・電位・交互 4～8時間/温熱(熱ほぐし) 1時間	
電源コード	約2.5m(丸型2芯)		
梱包形態	三つ折り		

表面温度および消費電力は、日本電機工業会で取り決めた条件(表面温度はウレタン 50m/mt 全面断熱、室温 20℃における値で、消費電力は全面開放、室温 10℃における値)で測定した値です。実際に使用されるときは、室温、床面など部屋の構造や使用状態により多少異なります。

# 使用目的又は効果

## 温熱治療

温熱効果 40℃～60℃

- 血行をよくし、疲労回復
- 筋肉のこりをほぐし、疲れをとる
- 神経痛、筋肉痛の痛みの緩解
- 胃腸の働きを活発にする

## 電位治療

陰電位(ピーク値) -300V/-800V

- 頭痛の緩解
- 肩こりの緩解
- 不眠症の緩解
- 慢性便秘の緩解

※緩解とは・・・症状・病勢などの進行がとまり楽になること

## 温熱治療

### ■動作原理■

面発熱体の熱(40℃～60℃)で患部に熱刺激を与えて治療する。

### ■まめ知識■

熱源となる面発熱体に、カーボン(炭素)素材を使用しています。

波長の長い輻射熱が、まるやかな心地よい「優しいぬくもり」で身体を芯から暖めます。

## 電位治療

### ■動作原理■

人体に交流の陰電位(ピーク値)-300V/-800Vを与えて治療する。

### ■電位治療の作用仮説■

ヒトに電界を掛けると、体毛が揺れて皮膚を刺激することや、皮膚温の上昇が確認されていますので、「電界作用が皮膚の触覚や圧を感じる感覚受容器を刺激し、血液の循環とからだの調節機能に働きかける。」ものと考えられます。

### ■まめ知識■

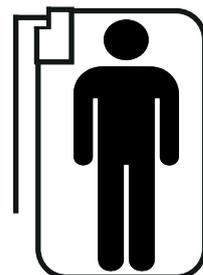
電位治療にあせりは禁物です。

即効性を期待するものではなく、身体全体の状態をみる全体療法であり、根気よく継続して使用することが大切です。

# 運転前の準備と機能説明

①本体はコントローラーがある方を必ず頭側にして広げてご使用ください。

尚、操作銘板がある方が表です。



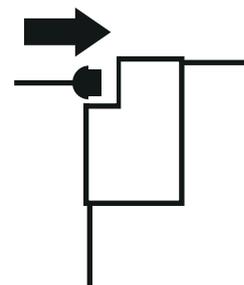
※やわらかいふとん・やわらかいマットレスの上での使用は避け、平らな所で使用してください。

②電源コードをコントローラーに差し込みます。

電源コードの出力プラグを本体に確実に差し込んでください。

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

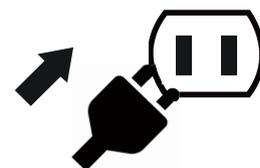
交流 100V 電源のコンセントに根元まで確実に差し込んでください。



※差し込んだ後、直ぐに「電源ツマミ」を「乾燥」「治療」に入れた場合、表示ランプが点灯・点滅するまで数秒が必要とする場合があります。

※コンセントに差し込むと待機状態となり、コントローラーに内蔵した電子部品の一部が温度上昇します。

(待機時：室温 + 約 5℃ / 治療時：室温 + 約 15℃)



③待機状態

電源ツマミを「治療」にいれると待機状態になります。

この状態では「残り時間」表示の数字が点滅しています。

開始 / 停止ボタンを押し運転を開始すると、「残り時間」表示が点滅から点灯にかわります。



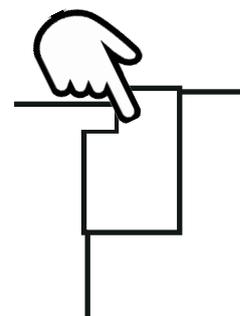
## ■ 誤作動防止機能 ■

運転開始から5分経過すると、選択ボタンが操作を受け付けなくなります。

これは、不意に操作ボタンに触れ、意図していない操作・機能を選択しないようにする為です。

運転を途中で停止する場合

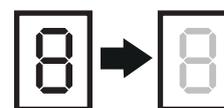
開始 / 停止ボタンを長押ししてください。待機状態になります。



## ■ 減光機能 ■

待機状態や運転開始から5分経過すると、「残り時間」表示のLEDランプが減光し薄暗くなります。

これは、運転中に明るい光によって不快になることを防ぎます。



# 正しいご使用方法

## 温熱治療(1/2)

①電源をいれてください。

電源切換ツマミを「治療」に  
いれ待機状態にしてください。  
(P8③参照)



乾燥  
切  
治療

②治療機能を「温熱」にしてください。

治療切換ツマミを「温熱」に  
いれてください。



電位  
交互  
温熱

●温熱機能のいずれかが赤色  
点灯します。  
点灯を確認してください。

③温熱機能を選択してください。

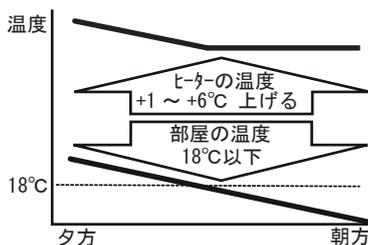
温熱ボタンで下記3種類の中から  
お好みの機能を選択してください。



●[通常]機能

設定した温度通りにヒーターが発熱  
します。

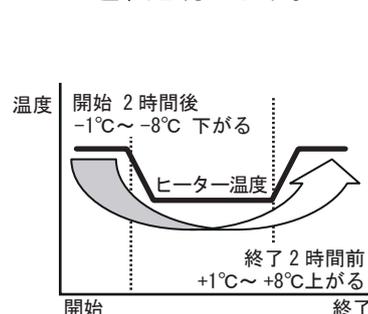
冬季の部屋の快適な温度は18℃と言われて  
います。部屋の温度が18℃から3℃下がる  
たびにヒーターの温度が1℃上がり設定温度を  
維持します。



部屋の温度	ヒーター温度補正
18℃以上	—
17-15℃	+1℃
14-12℃	+2℃
11- 9℃	+3℃
8- 6℃	+4℃
5- 3℃	+5℃
2℃以下	+6℃

●[省エネ]機能

開始2時間後から終了2時間前の間、ヒーター  
の温度設定に応じた省エネ温度に下方補正  
して運転を行います。



温度調整 ツマミの位置	ヒーター温度補正
弱	—
2	-1℃
3	-2℃
4	-3℃
中	-4℃
6	-5℃
7	-6℃
8	-7℃
強	-8℃

●[熱ほぐし]機能

■ ポイント ■

[温熱]専用の機能です。[電位]・[交互]  
では[熱ほぐし]は選択できません。

治療時間は1時間です。時間の変更はでき  
ません。

温度調節を自動(45~50℃)で行う為調節  
ツマミで設定している温度は[熱ほぐし]中  
には無効となります。

治療前に水分の摂取をお勧めします。

体調不良を感じたら治療を中止してください。

熱い温度で1時間の熱刺激を与え筋肉のこり  
をほぐします。

温熱治療を短時間で集中して行う機能です。  
温度の高低により、熱いだけではない心地よ  
さと刺激を得られます。



治療中に温度が切り替わると、コントローラーから  
「ピッ」と小さな音が鳴りお知らせします。

④温度調節をしてください。

2つの温度調節ツマミで  
[腰][足]の2面を、  
「切」から9段階で温度  
調節ができます。

1段階は2.5℃の差にな  
ります。

温度調節表示の目安は、

弱 - 約27℃

中 - 約37℃

強 - 約47℃ となります。



■ ポイント ■

ワイドサイズの場合[左][右]の温度調節に  
なります。その他は[腰][足]です。

# 正しいご使用方法

## 温熱治療(2/2)

### ⑤治療時間の設定

タイマー機能により治療時間を設定してください。



- 時間ボタンを押すごとに 1 時間ずつ 4～8 時間まで設定できます。
- [ 熱ほぐし ] は 1 時間固定です。時間ボタンを押しても変更できません。

- 設定の変更が無ければ上記⑥の操作を行なってください。

### ⑥運転を開始するには

開始 / 停止ボタンを押してください。



- 残り時間表示が、待機状態の点滅表示から運転中の点灯表示に切り換わります。
- 残り時間表示は治療開始から終了まで残り時間を表示します。

### ⑦運転中

誤作動防止機能 (P8 参照) と減光機能 (P8 参照) が働きます。

誤作動防止機能が働くと、機能・設定は変更できません。変更する場合は、運転を停止 (下記⑧) させ待機状態に戻してください。

### ⑧運転を停止するには

開始 / 停止ボタンをしっかりと (約 1 秒以上) 押してください。待機状態に戻ります。



- 残り時間表示が待機状態の点滅表示であることを確認してください。

### ⑨運転終了

設定した運転時間に達すると残り時間表示が「0」時間になり運転が終了します。

### ⑩再運転を行うには

開始 / 停止ボタンを押してください。



- 減光機能が解除され明るくなります。残り時間の表示が「0」から待機状態に戻り、運転前に設定した時間「4～8」が点滅表示されます。

# 正しいご使用方法

## 電位治療

①電源をいれてください。

電源切換ツマミを「治療」に  
いれ待機状態にしてください。  
(P8③参照)



②治療機能を「電位」にしてください。

治療切換ツマミを「電位」に  
いれてください。

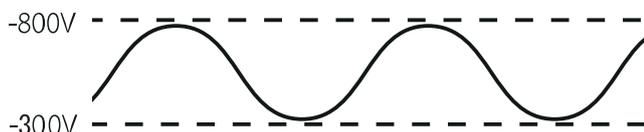
- 電位機能のいずれかが緑色に  
点灯します。  
点灯を確認してください。



③電位機能を選択してください。

電位ボタンで下記3種類の中から  
お好みの機能を選択してください。

- [ゆらぎ]機能  
-300V と -800V を交互  
(3秒周期) に出力します。



- [-300]機能  
ピーク値 -300V の負電位を身体に与えます。
- [-800]機能  
ピーク値 -800V の負電位を身体に与えます。

④治療時間の設定

タイマー機能により治療時間を設  
定してください。

- 時間ボタンを押すごとに 1 時間ず  
つ 4 ~ 8 時間まで設定できます。



⑤運転を開始するには

開始 / 停止ボタンを押してくだ  
さい。

- 残り時間表示が、待機状態の  
点滅表示から運転中の点灯表  
示に切り換わります。
- 残り時間表示は治療開始から終了  
まで残り時間を表示します。



⑥運転中

誤作動防止機能 (P8 参照) と減光機能 (P8  
参照) が働きます。  
誤作動防止機能が働くと、機能・設定は変  
更できません。変更する場合は、運転を停  
止 (下記⑦) させ待機状態に戻してください。

⑦運転を停止するには

開始 / 停止ボタンをしっかりと (約  
1 秒) 押してください。

- 残り時間表示が待機状態の点  
滅表示であることを確認してくだ  
さい。



⑧運転終了

設定した運転時間に達すると残り時間表示が  
「0」時間になり運転が終了します。

⑨再運転を行うには

開始 / 停止ボタンを押してください。

- 減光機能が解除され明るくなりま  
す。残り時間の表示が「0」から  
待機状態に戻り、運転前に設定  
した時間「4 ~ 8」が点滅表示されます。
- 設定の変更が無ければ上記⑤の操作を行  
なってください。



### ■ 電位療法による反応について ■

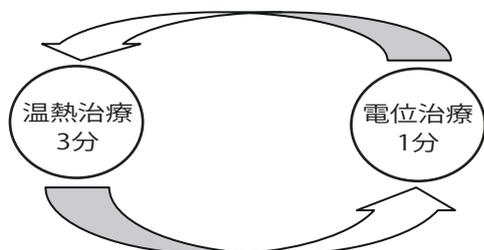
電位療法を始めますと、人によっては最初のうち一時的に湯あたり (温泉につかり過ぎて疲れたような状態) に似た症状になることがあります。この症状が強過ぎて不快な場合は、1 日か 2 日治療を休めば、その後は快適に治療を続けることができます。

# 正しいご使用方法

## 交互運転

### ■ ポイント ■

交互運転とは、治療時間中に温熱治療3分・電位治療1分が交互に繰り返し運転を行います。



#### ①電源をいれてください。

電源切換ツマミを「治療」にいれ待機状態にしてください。(P8③参照)



#### ②治療機能を「交互」にしてください。

- 治療切換ツマミを「交互」にいれてください。
- 電位機能の温熱治療の、それぞれの表示ランプが点灯します。点灯を確認してください。



#### ③温熱機能を設定してください。(P9 ③参照)

温熱ボタンでお好みの機能を選択してください。  
温度調節ツマミの「弱」～「強」を選択してください。

※「熱ほぐし」は交互でご使用できません。  
ご使用の際は②の治療ツマミを「温熱」にいれてください。



#### ④電位機能を設定してください。(P11 ③参照)

電位ボタンでお好みの機能を選択してください。



#### ⑤治療時間の設定

タイマー機能により治療時間を設定できます。

- 時間ボタンを押すごとに1時間ずつ4～8時間まで設定できます。



#### ⑥運転を開始するには

開始 / 停止ボタンを押してください。

- 残り時間表示が、待機状態の点滅表示から運転中の点灯表示に切り換わります。
- 残り時間表示は治療開始から終了まで残り時間を表示します。



#### ⑦運転中

誤作動防止機能 (P8 参照) と減光機能 (P8 参照) が働きます。  
誤作動防止機能が働くと、機能・設定は変更できません。変更する場合は、運転を停止 (下記⑧) させ待機状態に戻してください。

#### ⑧運転を停止するには

開始 / 停止ボタンをしっかりと (約1秒以上) 押してください。

- 残り時間表示が待機状態の点滅表示であることを確認してください。



#### ⑨運転終了

設定した運転時間に達すると残り時間表示が「0」時間になり運転が終了します。

#### ⑩再運転を行うには

開始 / 停止ボタンを押してください。

- 減光機能が解除され明るくなります。残り時間の表示が「0」から待機状態に戻り、運転前に設定した時間「4～8」が点滅表示されます。
- 設定の変更が無ければ上記⑥の操作を行ってください。

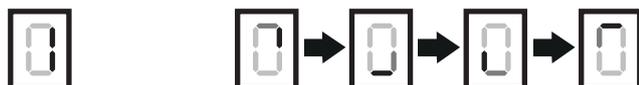


# お手入れ

## ①乾燥機能

マットの湿気が気になるときは、電源切換ツマミを「乾燥」にして「開始 / 停止」ボタンを押すと乾燥機能が開始されます。

待機状態をお知らせする残り時間表示が「1」の点滅からランプが右回りに廻り、乾燥中であることをお知らせします。終了すると「0」と表示されます。



5分経過すると減光機能が働き、1時間後に自動終了します。

裏面を上にして、さらに「乾燥」にすればより効果的です。

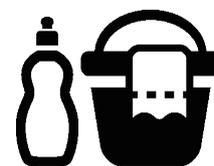
梅雨の時期や夏場には月に2～3回、その他の時期は月に1回程度が目安です。



②マットの汚れがひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布でふきとり、真水に浸した布で洗剤分を取り除いてください。

その後、風通しの良い所で陰干しをしてください。

シンナー、ベンジンなどの溶剤を使用しますと、マットやコンローラーをいためますので、絶対使用しないでください。



③電源コードをコントローラーから抜き取り、本体を畳む際は必ず三つ折りにしてください。治療導子（ヒーター）を強く折り曲げたり、上に重いものをのせないでください。（故障の原因になります）



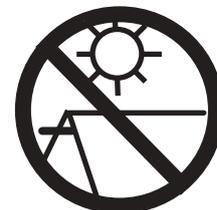
④本製品は温熱・電位医療機器のため、押し入れ等に収納するときはふとんなどの最上位にのせて、タテ方向に折り曲げないようにしてください。



○湿気が取れない場合は、風通しの良い所で陰干しをしてください。

○屋外で日干しをしないでください。

コントローラーが雨に濡れると故障する恐れがあります。



## ■ 注意 ■

折り曲げた状態での「乾燥」は、故障の原因になりますので絶対におやめください。

乾燥運転は表面温度が高温になりますので、マットの上に物（掛けふとん類）を置かないでください。

ふとん乾燥機との併用はしないでください。



# 故障かな？と思ったら

## ■残り時間表示が で動かない

本体の異常を検知して、運転を停止している状態です。  
ご購入された販売店等にお問い合わせください。

## ■暖かにならない・ぬるい

外気温・室温が急に下がることで、マットの発熱温度が空気に奪われてしまい、暖かくない・ぬるく感じることがあります。  
その際は、温度設定を上げる、保温効果を高めるために掛ける物（ブランケット・ふとん等）を増やすことをお試しください。  
マットを床に直接床に敷いている場合、ベットの底板に直に敷いている場合、マットの熱が奪われてしまいます。その際はマットの下に断熱の為、何かしら敷いてください。

## ■電源が入らない

電源コードの差し込みを確認してください。  
※点灯に数秒時間を要する場合があります。  
その上で表示されない場合は、本体に異常が発生しています。  
ご購入された販売店等にお問い合わせください。

## ■破損（割れ・やぶれ・切断等）

ご購入された販売店等にお問い合わせください。

## ■その他

ご購入された販売店等にお問い合わせください。

# アフターサービスと保証

## ■修理を依頼されるときは

- 1) 修理は、お買い上げの販売店に、この製品の品名・サイズ、および故障状態をご連絡のうえ、お申し付けください。
- 2) ご転居・ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、テクノエレメント株式会社にお問い合わせください。
- 3) 修理は特殊な技術が必要です。ご自分での分解修理は絶対にしないでください。

## ■補修用性能部品について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造終了後6年です。

- ①この期間は、経済産業省の指導によるものです。
- ②補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■製品の保証について

- 1) 本製品には、保証書が付いています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 2) 保証期間はお買い上げの日から1年間です。保証書の記載内容によりお買い上げの販売店、またはテクノエレメント株式が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- 3) 保証期間中の修理など、アフターサービスについておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店またはテクノエレメント株式会社にお問い合わせください。
- 4) 保証期間経過後の修理についても、販売店、またはテクノエレメント株式会社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

## 長年ご使用の温熱・電位医療機器の自己点検を！

- 下記の症状が現れたら……ご使用を中止してください  
・コントローラーの損傷 ・コードのすりきれや、やぶれ、傷  
・発熱体の異常硬化、折れぐせ ・発熱体の異常高温  
・電源コード・コントローラーの異常高温 ・ときどき暖まらない  
・異常音の発生 ・電源が入らないとき、残り時間表示が表示しなかったとき  
・その他普段とちがったとき
- 故障や事故を防止するため電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検修理をご相談ください。
- アフターサービスについてご不明の場合、その他当社商品についてのご相談、お問い合わせは、お買い上げ販売店窓口またはテクノエレメント株式会社にお問い合わせください。

製造販売元 テクノエレメント株式会社  
〒435-0056 浜松市中央区小池町1532番地  
TEL 053-435-1161 FAX 053-435-0533

# かんたん操作

※記載している操作は参考です。お好みの設定でご使用ください。

はじめ

手順1. 電源切換ツマミ  
「治療」にしてください。

手順2. 治療ツマミ  
下記を選択してください。

- ・ 暖かい季節  
「電位」(P11 参照)
- ・ 寒い季節  
「交互」(P12 参照)
- ・ 身体を熱でほぐしたい・夏場  
「温熱・熱ほぐし」(P9③参照)

手順3. 温度調節ツマミ  
手順2で、「交互」または「温熱」を選択した場合は、温度調節をしてください。

お勧め  
「腰」を「3」(約32℃)  
「足」を「中」(約37℃)  
お好みの温度に再度調節してください。

※参考温度  
・「弱」27℃  
・「中」37℃  
・「強」47℃

手順7. 開始 / 停止ボタン  
ボタンを押すと運転が開始します。

運転中を停止したい場合は同ボタンを長押ししてください。  
次回の運転は、変更が無ければ、同ボタンを押して開始してください。

手順6. 時間ボタン  
治療時間を設定してください。

時間は「残り時間」に表示されます。  
同ボタンを押すごとに時間が変更され、4～8時間が選択できます。

手順5. 電位ボタン  
手順2で「交互」もしくは「電位」を選択した場合は、電圧を選択してください。

お勧め  
使用開始は「-300」から。  
2週間ほど使用して慣れてきたら「ゆらぎ」に設定変更。  
P11 ③参照

手順4. 温熱ボタン  
手順2で、「交互」もしくは「温熱」を選択した場合は、「温熱」ボタンで機能を選択してください。

お勧め  
ゆっくり長時間のご使用「通常運転」  
ゆっくり長時間のご使用中に熱く感じる方「省エネ」  
短時間の熱い温熱治療・夏場・発汗「熱ほぐし」  
※「熱ほぐし」は運転時間と温度設定は固定式です。  
(1時間・50℃-45℃) 設定の変更はできません。  
運転前に水分補給をお勧めします。  
P9 ③参照

